

豊橋医療センター理念

私たちは、心のこもった
医療を提供します

豊橋医療センター基本方針

- 満足していただける医療を提供し、信頼される病院をめざします
- 基本的人権を尊重し、必要な情報を提供します
- たゆまぬ研鑽に努め、すべてにおいて良質で安全な医療を提供します
- 地域と連携し、患者さんご家族を支援します
- 安定した健全経営を維持するための努力と意識を持ち続けます



もくじ

看護部長のご挨拶	1
診療科紹介(緩和ケア)	2
診療科紹介(脳神経外科)	3
病棟紹介(南病棟)	4
栄養管理室だより	6
トピックス(関節機能再建センター)	7
外来診療担当医表	裏表紙



「着任のご挨拶」



看護部長 平野 理恵

この度、豊橋医療センターの看護部長として着任しました、平野理恵と申します。

2009年4月に看護師長として初めて豊橋医療センターに配属され、10年間、豊橋医療センターで看護師長、医療安全管理者として勤務しました。その後、三重県、愛知県、富山県と異動し、8年ぶりに豊橋医療センターへの異動を命じられました。まさか、看護部長で豊橋に戻ってくるとは想像もしておらず、内示を受けた際には驚きとセンターの看護部長という重圧に緊張するばかりでした。

3月にアパート探しで豊橋市内を車で走りながら、変わらない風景やお店などに懐かしさを感じながら、新しいお店や温泉施設にびっくりしたりと新生活へのわくわく感も同時に感じておりました。

4月に着任してみると、院長先生をはじめ懐かしい方々より「お帰りなさい」と温かく迎えていただき、緊張がほぐれ、8年前から変わっていない病院全体の温かさや患者さんを想う医療体制に懐かしさを感じるばかりでした。その反面、病棟の縮小などの変化に寂しさを感じながら、7年前の看護師長時代には見えていなかった当院を取り巻く地域の状況や地域での当院の評判など情報を得る中で、当院をとりまく様々な課題を認識した4月でした。6月から緩和ケア外来の拡充やICUからHCUへの変換、看護部の出張講座の再開などの取り組みも始まり、地域の皆さまに必要とされる病院として変化し続けています。

当院の看護部は新人から超ベテランまで幅広い世代が活躍しています。看護職員が生き活きと各々の専門性を発揮していけるよう、そして病院の変化にしなやかに力強く対応していける看護部を副看護部長とともに実現していくことが自身の使命だと信じて努めてまいります。

医療をとりまく状況は年々、厳しくなってきましたが、当院の理念である「私たちは、心のこもった医療を提供します」と看護部の理念である「私たちは、思いやりのある看護を実践します」を実現し続けるよう、院長先生をはじめ病院の全職員とともに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

診療科紹介：緩和ケア病棟

当院緩和ケア病棟では、これまで専従医師1名を中心に診療を行ってまいりましたが、2026年6月より新たに外科医2名が週2回の緩和ケア外来を担当する体制が追加となりました。これにより、痛みや倦怠感などの身体症状や療養上の困りごとに対し、より迅速に対応できる外来診療体制が整いました。

【新体制のポイント】

- ・緩和専従医の週3回の外来に加え、外科医2名が週2回の緩和ケア外来を担当
- ・疼痛コントロールの相談体制を拡充
- ・レスパイト入院の積極的な受け入れ

【早期紹介のお願い】

緩和ケアは「治療の最終段階」だけに利用する医療ではありません。

痛み、倦怠感、食欲低下、不眠、不安など、日常生活に影響する症状が現れ始めた段階からご利用いただけます。早期にご紹介いただくことで、痛みや不快症状のコントロールがよりスムーズに行えるほか、ご家族の介護負担の軽減、在宅療養との調整のしやすさなど、患者さん・ご家族双方に大きなメリットがあります。

【外科チームが加わることで可能となること】

今回の体制変更により、外科医が緩和ケア外来に参加することで、外来での相談対応の幅が広がり、レスパイト入院の受け入れ判断をより迅速に行えるようになりました。これまで以上に多様な患者さんのニーズに応えられる体制となっています。

【レスパイト入院について】

在宅療養中の患者さんやご家族の休息を目的としたレスパイト入院も、外科チームと連携しながら積極的に受け入れていきたいと考えています。「少し休みたい」「介護負担が重くなってきた」などのご相談にも対応しておりますので、遠慮なくお問い合わせください。

【地域の医療機関の先生方へ】

症状緩和や療養支援が必要と考えられる患者さんがいらっしゃいましたら、治療段階を問わず、早めに当院緩和ケア外来へご紹介ください。外来での相談のみでも対応いたします。今後も地域の皆さまと連携しながら、患者さんにご家族が安心して療養できる緩和ケアの提供に努めてまいります。

診療科紹介：脳神経外科

診療スタッフ

医師：川崎 智弘（平成20年卒）

医師：山本 力義（平成30年卒）

非常勤医師：西村 康明（昭和53年卒）

非常勤医師：酒井 秀樹（昭和62年卒）

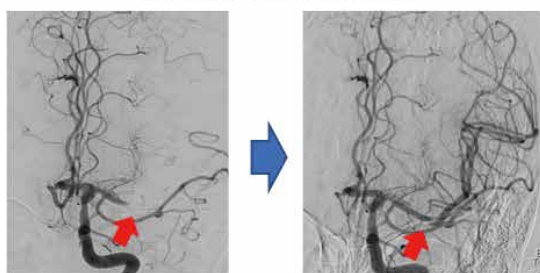
診療活動

脳神経外科では、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）や頭部外傷などの脳神経外科救急疾患が、診療の中心となっています。また、頸動脈狭窄症や未破裂脳動脈瘤の治療など脳卒中の予防を目的とした外科治療も積極的に行なっています。年間平均入院患者数はのべ約300名（脳卒中急性期は約170例）で推移しています。

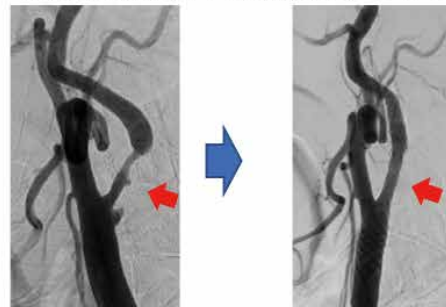
また、脳卒中診療において地域の重要な拠点病院となるよう2019年7月に脳卒中センターを設立し、同年9月に日本脳卒中学会一次脳卒中センターの認定を受けました。脳卒中センターでは、脳卒中患者さんに対して多職種（医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション、ケースワーカー）で構成される脳卒中チームを結成し、脳卒中患者さん専用の病床（脳卒中ユニット）を使用して診療に当たり、より良い医療を提供できるように心がけています。

当科では、年間80件ほどの手術を行っております。出来るだけ体に負担の少ない治療を心がけており、脳動脈瘤や頸動脈狭窄症に対するカテーテル治療や脳出血に対する内視鏡的血腫除去術などを積極的に導入しています。（下図）

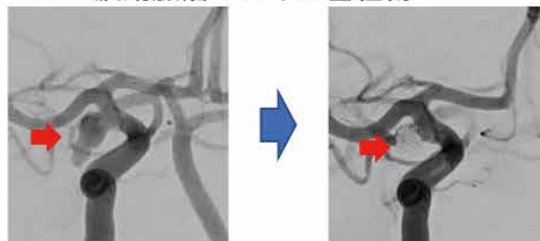
・ 脳梗塞：血栓回収療法



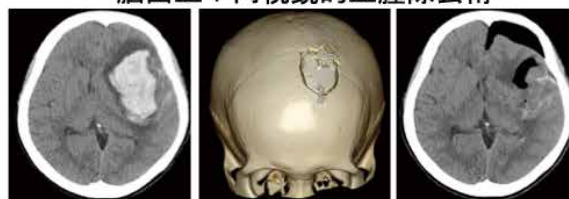
・ 頸動脈狭窄症：頸動脈ステント留置術



・ 脳動脈瘤：コイル塞栓術



・ 脳出血：内視鏡的血腫除去術



重症心身障がい児（者）病棟〔南病棟〕のご紹介

南病棟紹介

患者さん一人ひとりの思いを受けとめ、日常生活を大切にしたケアを行っています。

急性期病院である豊橋医療センターの中で唯一の重症心身障がい児（者）の南病棟は、脳性麻痺などの疾患によって重度の知的障がいと身体障がいを持ち、日常生活に介助を要する患者さんが入院しています。入院生活を支えるチームは、医師、看護師、療養介助専門員、業務技術員、療育指導員、保育士で、そのほか、歯科、リハビリ、薬剤師、栄養士、支援学校の教師など多職種で連携して医療とともに成長発達の支援、生活の質の向上を実践しています。



療育指導室

日々の生活に刺激があって、季節を感じられるような行事を行っています。

小さな反応をみながら、一人一人の好みを探して、興味・関心を育てています。環境を整えたり、一緒に体験したり、一人ひとりの「知る」「感じる」「表現する」を受けとめて、思いに寄り添ったその人らしい時間を探しています。

病棟でのかかわり

日常にかかわる病棟スタッフは、言語的なコミュニケーションはもちろん、表情、視線、動作、心拍数などあらゆる情報を駆使して、患者さん一人一人のサインを感じ、その思いを受けとめ、「毎日が楽しい」と感じられるように支援を行っています。

現在は最年少の0歳から最年長は67歳まで幅広い年齢層の患者さんが入院し、コロナで制限していたご家族と一緒に過ごす時間を拡大しています。例えば院外レクリエーション、ボランティアの演奏会、夏を楽しむ会など行事も行っています。また、以前のようにみんなと一緒に参加できる季節のイベントやお誕生日会など患者さんが楽しみながら季節を覚えられよう工夫しています。

学び（愛知県立豊橋支援学校・つくし学級）

学齢期（小学部・中学部・高等部）の患者さんは病棟内になる施設内教育「つくし学級」で、豊橋特別支援学校の先生方による授業を受けています。呼吸器が必要な患者さんも、教室に見立てたお部屋で授業を受けたり、集団の中ホールで授業を受けたり、いろんな環境で病棟スタッフと二人三脚で授業に参加しています。また、集団では体験できない個別の教育支援計画で一对一のかかわりで生きる力を育んでいます。

ボランティア募集

南病棟では、地域の皆様にボランティアとしての活動をいただいています。感染対策に気をつけながら、行事や季節の飾りつけ、演奏会など特別な資格がなくてもできる活動です。活動に関しては、ボランティアコーディネーター（主任児童指導員）が対応します。

お問い合わせ：南病棟ボランティア担当（主任児童指導員）

TEL：0532－62－0301（代表）

患者さんが笑えば、私たちも笑顔になります。その思いをこれからも家族の方と共有していけるように多職種チームで協力してより良い援助をさせていただけるよう努めています。

南病棟では、見て、触れて、聞いて、そして考える。看護の原点がここにあります。一緒に働く看護スタッフも募集しております。



栄養管理室だより

当院公式Instagramで食事について発信中！



Instagram

豊橋医療センター栄養管理室では、当院公式 Instagram (@nho.toyohashi.iryuu) にて、患者さんへ提供しているお食事や緩和ケア病棟の手作りデザートについて発信しています。

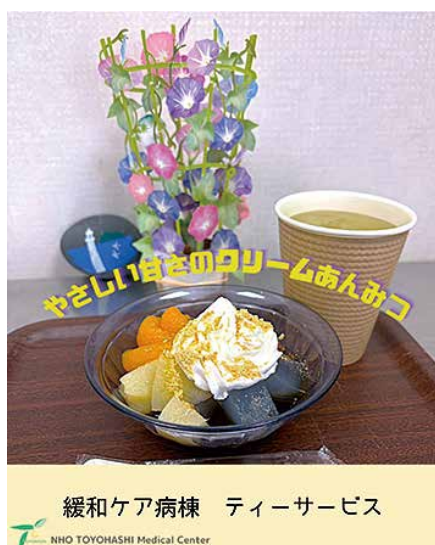
現在は月に2回程度のペースで、患者さんへ提供しているお食事と、緩和ケア病棟で提供している手作りデザートについて投稿しています。お食事の投稿では、季節の食材を取り入れた献立や行事食、「〇〇の日」にちなんだメニューなどをご紹介し、食材に含まれる栄養素や健康への働き、その料理にまつわる由来なども掲載しています。一方、手作りデザートの投稿では、患者さんに季節感や手作りならではの温かみを感じていただけるよう工夫したデザートをご紹介します。

病院食というと、「治療のための食事」というイメージを持たれる方も多いかもかもしれません。しかし、私たちは栄養バランスや安全性はもちろんのこと、食事を通じて季節を感じていただくことや、食べる楽しみを感じていただくことも大切にしています。

また、緩和ケア病棟では、患者さんの楽しみの一つとなるよう、栄養管理室で手作りのデザートを提供しています。旬の果物を使用したデザートや季節のイベントに合わせたお菓子など、一つひとつ心を込めて作っています。見た目からも季節感を感じていただけるよう工夫しており、患者さんにも大変好評です。Instagramでは、こうしたデザートの魅力も写真とともにご紹介しています。

Instagramを通じて、病院食や栄養管理室の取り組みをより身近に感じていただければ幸いです。当院をご利用される方だけでなく、地域の皆さまにとっても、食や健康について考えるきっかけとなれば嬉しく思います。

ぜひ、豊橋医療センター公式Instagramをご覧ください。皆さまのフォローをお待ちしております。



豊橋医療センター 整形外科

「人工膝関節センター」から「関節機能再建センター」へ

このたび当院整形外科では、これまでの「人工膝関節センター」を発展的に改組し、新たに「関節機能再建センター」として生まれ変わりました。膝関節に加え、肩関節・股関節・スポーツ外傷まで対象を広げ、保存療法から高度な鏡視下手術・人工関節置換術まで、関節機能の再建にかかわるご相談にワンストップで対応します。専門医が一丸となって診療にあたり、地域の医療機関の皆様から幅広い患者さんをご紹介いただける体制を整えています。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 整形外科 診療スタッフ

氏名	役職・所属
柴田 康宏	副院長
竹内 聡志	整形外科部長
奥村 太郎	リハビリテーション科医長／股関節外科医長
久留宮 悠暉	整形外科医師
新開 研登	整形外科医師
溝口 雄大	整形外科医師
鈴木 智博	整形外科医師

スポーツ整形外科

肩・肘・膝関節のスポーツ外傷・障害に対し、米国ピッツバーグ大学で2年半にわたり臨床・基礎研究を積んだ竹内医師が、国際基準のスポーツ医学に基づき、保存療法から高度な手術療法まで担当します。

主な特徴：最新鋭の4Kカメラシステムによる低侵襲・高精度な関節鏡手術を行い、正常組織を最大限温存して、術後疼痛の軽減、早期リハビリ、スポーツや職場への早期復帰を目指します。外来では最新型エコーで筋肉・腱・靭帯をリアルタイムに評価し、画像を共有した説明と、病変部位への正確な注射治療を行います。

肩関節鏡手術

肩の痛み、腕が上がらない、スポーツで肩を痛めたなどの症状に対し、丁寧な理学所見と熟練した超音波（エコー）診断で原因を見極め、必要に応じて肩関節鏡手術を行います。約5ミリの小さな穴からカメラと器具を挿入し、人工靭帯や縫合糸を操作して関節内を修復する、高度な技術と空間認識能力を要する手術です。

竹内医師の手術は、組織を無駄に傷つけず、本来の構造を精度高く修復する手技を特徴とし、術後の再発率を極めて低く抑え、良好な治療成績につなげています。

人工肩関節置換術（リバーズ型人工肩関節置換術）

当院は「リバーズ型人工肩関節置換術（リバーズショルダー）」対応病院です。長引く激しい肩痛や、広範囲腱板断裂などで腕が上がらない重度の肩関節疾患に対し、特殊な人工関節を用いて残存する三角筋の力を活かし、疼痛軽減と挙上機能の回復を目指します。

人工股関節置換術（THA）

変形性股関節症などによる股関節痛に対し、前方進入法（DAA）を用い、筋肉や腱をほとんど切離さない「完全筋腱温存（True Muscle-Sparing）」による低侵襲な人工股関節置換術を行っています。股関節周囲の筋組織を温存し、脱臼率の低減と術後早期の社会復帰を目指します。

全症例でCTデータに基づく3Dプランニングを実施し、簡易ナビゲーションシステム（主にNavi Swiss、他社製品にも対応）を組み合わせ、術前計画に沿った精度の高いインプラント設置を行います。

人工膝関節置換術（TKA）

変形性膝関節症などに対し、手術支援ロボットと最新インプラントを組み合わせ、患者さん一人ひとりの関節に合わせた人工膝関節置換術を行っています。2023年5月、遠州三河地区で先駆けて人工関節手術支援ロボットを整備し、これまでに300例以上を実施しました。

主な特徴：人工膝関節手術支援ロボット「CORI」によるPersonal Alignmentで、生来のアライメントと靭帯バランスを尊重します。主に最新インプラント「Journey II」を用い、生理的な動きを目指す設計とCORIによる正確な骨切り・軟部組織バランスを組み合わせます。摺動面には摩耗粉を抑制し、ニッケルを含まない独自素材「OXINIUM」を採用しています。

症例を限定してSub Vastus approachによる低侵襲手術を導入し、高度肥満や重度の変形性膝関節症では通常アプローチを選択します。大腿神経持続ブロック、坐骨神経ブロックを併用したMultimodal pain controlで術後疼痛に対応し、ゆとりある施設・病床で遠方からの入院、手術・リハビリにも対応します。

当院整形外科／関節機能再建センターでは、膝関節・股関節・肩関節・スポーツ外傷まで、幅広い領域で専門性の高い診療体制を整えております。今後とも患者さんのご紹介につきまして、何卒よろしくお願い申し上げます。

豊橋医療センター 整形外科

外来診療担当医表

令和8年8月1日～

※受付時間は、8：30～11：00 （再診予約専用電話 0532-62-1087 平日13:00～15:00） 電 話：0532-62-0301

曜 日			月		火		水		木		金	
診療科		診察室	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内 科	⑩	第1	膠原病リウマチ内科 横井		第3火曜以外 代謝・内分泌 濱嶋		膠原病リウマチ内科 横井				膠原病リウマチ内科 横井	
		第2			一般・膠原病リウマチ内科 小原		第2・4水曜 腎臓 鳥山		一般・膠原病リウマチ内科 小原		第2・4・5金曜 一般・血液内科 恵美	
		第3			第3火曜 代謝・内分泌 武内				糖尿病・内分泌 浅井一		第1・3金曜 総合内科 渡邊	
											14:00-15:00 肺炎球菌予防接種 (要予約)	
脳神経外科	⑭		初診、予約外 川崎				初診のみ 交代制				川崎	
	⑮				初診、予約外 山本				初診、予約外 山本			
脳神経内科	⑮										横川	
	⑯				横川				第1木曜 予約のみ 長島			
							第3・5木曜 予約のみ 河野					
循環器内科	⑯	第1	小林		岡田		第1・2・5週 横家 横家		横家		横家	
	⑯	第2					柴田理				後藤	
	⑯	ペースメーカー					第3・4週 横家					
心臓血管外科	㉑		第1・3・5月曜 10:00開始 鷺山									
整形外科	⑰	第1	初診、病診連携 鈴木智		初診、病診連携 新開		久留宮		鈴木智		初診 上用	
	⑱	第2	溝口		竹内		初診、病診連携 奥村		肩、肘スポーツ 竹内		奥村	
	⑱	第3	新開		予約制 柴田康				初診、病診連携 溝口		初診、病診連携 久留宮	
	⑯	第4	治験外来									
	㉑	第5									人工膝関節専門外来 柴田康	
眼 科	⑲		予約外は受付10:00まで 大高		予約のみ 大高		土井		土井		松浦	
耳鼻咽喉科	⑳		山口		山口		山口		山口		山口	
歯科口腔外科 (予約のみ)	㉒		湯浅		湯浅		湯浅		湯浅		湯浅	
精神科	㉓				相楽				杉浦			
外 科	㉔	第1	(緩和ケア) 伊藤武		緩和ケア 越川		緩和ケア 越川		山下		安藤	
	㉔	第2	大本		(緩和ケア) 稲岡		伊藤武		緩和ケア 越川		ヘルニアセンター 交代制	
	㉔	第3	乳腺専門外来 第1・3・5月曜 豊田		安藤		外科/消化器 市原		吾妻			
	⑳	第4									後藤	
消化器内科	㉕		阿座上		大森		阿座上		浦野		大森	
呼吸器外科	㉗		予約のみ 関				予約のみ 関				予約のみ 関	
呼吸器内科	㉗								阿部			
産婦人科	㉘		杉原		杉原		角		杉原		杉原	
泌尿器科	㉙				日下		小嶋		中村		岡田百	
皮膚科	⑳		予約のみ 羽根				第4水曜以外 白田		予約のみ 平良			
小児科	㉛	第1	慢性疾患のみ 西田 鈴木清		鈴木清		慢性疾患のみ 西田 西田		慢性疾患のみ 鈴木清 西田		慢性疾患のみ 西田 鈴木清	
	㉛		13:30-14:30 予防接種 (要予約)		13:30-14:30 乳児検診 (要予約)							
放射線科	㉝											